

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立玉津中学校

令和 7 年 4 月

大阪市立玉津中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校生徒は、落ち着いた学習環境のもとで、意欲的に授業や部活動、学校行事に取り組んでいる。学習面では、いずれのクラスも集中して授業に臨み、一所懸命に取り組んでおり、大阪府チャレンジテストにおいても、学年により差異はあるが、3 学年ともに大阪府平均を上回る結果を残している。学校生活面でも、生徒アンケートの「学校に楽しく通えている」についての肯定的回答が、年々向上しており、昨年度の年度目標の 92%を超える結果となった。また、部活動や地域のクラブチームなどにも多くの生徒が積極的に参加している。一方で、不登校生徒の在籍比率については顕著な改善がみられておらず、家庭や関係諸機関と連携した取組が喫緊の課題となっている。働き方改革については、ICT 機器を積極的に活用しながら、業務の効率化を図り、時間外勤務時間の改善を図っていく必要がある。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和 7 年度末の校内調査の「学校の規則やルールを守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を令和 3 年度と同等以上にする。
- ・令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、令和 3 年度 (79.5%) より 5%増加させる。
- ・令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 90%以上にする。
- ・毎年度末の校内調査において、不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- ・毎年度末の校内調査において、前年度不登校児童生徒の改善の割合を毎年、増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和 7 年度の中学校チャレンジテストの平均正答率 7 割以下の生徒を、いずれの学年も令和 3 年度より 2 ポイント減少させる。
- ・令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を 35%以上にする。
- ・令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に答える生徒の割合を、男女それぞれ、令和 3 年度より 5 ポイント増加させる

- ・令和 7 年度の大阪市英語力調査の中学校卒業段階での C E F R A1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を 75%以上にする。
- ・令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を令和 3 年度(92.7%)より増加させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和 7 年度の校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 76.5%以上にする。
- ・令和 7 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にしているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、令和 3 年度(84%)より 3 ポイント増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
- ・令和 7 年度末の校内調査の「学校に楽しく通えていると思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を94%以上にする。
- ・学校で認知したいじめについて、解消した割合を 100%にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒あとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 44%以上にする。
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。
- ・大阪市英語力調査における C E F R A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 72%以上にする。
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を 56%以上にする。
- ・中学生チャレンジテストにおける正答率の対府平均比を1.00以上にする。
- ・令和 7 年度末の校内調査において「朝食を毎日食べていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日が、年間授業日の 50%以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）
- ・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 90%以上にする。
- ・令和 7 年度末の校内調査において「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 60%以上にする。
- ・令和 7 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、66%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立玉津中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 ・令和7年度末の校内調査の「学校に楽しく通えていると思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を94%以上にする。 ・学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>明るく落ち着いた教育環境の中で、生き生きと学習に取り組み、心身ともに健全に成長できるよう、規範意識を高めるとともに、生徒の安全・安心と教育を受ける権利の保障に努める。いじめや暴力行為等の問題行動を生まないためにも、子どもの規範意識を高め、すべての生徒が自他の尊厳を認め合い、好ましい人間関係を確立する。不登校や虐待に関する生徒の状況を適切に把握し、丁寧に対応する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度末の校内調査の「学校の規則やルールを守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を95%以上にする。 ・学期に1度、学習者用端末を活用したいじめアンケートを実施し、いじめの早期発見・早期解決を図る。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>倫理や規範意識、社会性をはぐくむ教育を進めるため、道徳教育を推進する。また、生徒の社会的・職業的自立に向け、企業や団体の協力による職業講話や職場見学、職場体験学習などによりキャリア教育を進める。「共に学び、共に育ち、共に生きる教育」を一層推進するために、生徒がさまざまな人権課題に対する正しい理解と認識を深め、自他の生命と尊厳を互いに尊重し合う態度をはぐくむ。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度末の校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を80%以上にする。 ・人権教育やキャリア教育に関する取組を年に3回以上実施する。 ・令和7年度末の校内調査の「社会の役に立つ人になりたいと思う。」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を前年度(64.3%)より増加させる。 	
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>防災・減災教育の充実に向け諸機関や地域と連携を図るとともに、安全（防犯）を守るためにも主体的に行動できる力の育成に努める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所や消防署など地域と連携し、3年間を見通した防災訓練を実施する。 ・令和7年度末の校内調査の「災害に備えるために学校で行う防災・減災教育などの安全教育や講習会、避難訓練などの取り組みは役立つし必要であると思う」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を98%以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立玉津中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を44%以上にする。 ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。 ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を72%以上にする。 ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を56%以上にする。 ・中学生チャレンジテストにおける正答率の対府平均比を1.00以上にする。 ・令和6年度末の校内調査において「朝食を毎日食べていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を90%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>生徒一人ひとりが学ぶことに興味・関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組むなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。また、「生きて働く知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」をはぐくむ学習を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度末の校内調査の「各教科の授業の内容はよく分かりますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を前年度(89.0%)より増加させる。 <hr/>	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>世界的な競争と協働が進む国際社会において、生徒に力強く生き抜く力を身につけさせるため、生徒の可能性を広げるツールとなる英語のコミュニケーションスキルを向上させる。</p> <hr/>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語科の授業において、T・Tや習熟度別少人数授業等の個に応じた指導を行うとともに、C-NETの活用を図り、コミュニケーションスキルを養う。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>生徒が心身とも健康で活力のある生活を送るために、主体的に運動する習慣を身につけ基礎的な体力を養う。講話や実技指導を通して生徒の夢や目標をはぐくみ、スポーツへの関心を高め、体力の向上を図る。健全な生活を送るためには健全な食生活は欠かせないものなので、生徒には食に関する正しい知識と食習慣を身につけさせるとともに、健康的な生活習慣を形成し、健康を管理する能力を身につけさせる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点において、対大阪市比を1.00以上にする。 ・区役所と連携し、食育教育を実施する。 ・毎月、食育つうしんを発行し、健康と食に関する意識を向上させる。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立玉津中学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日が、年間授業日の 50% 以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く) ・年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 90% 以上にする。 ・令和 6 年度末の校内調査において「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 56% 以上にする。 ・令和 6 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、66% 以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 不登校生徒など個別に支援が必要な生徒の学習の保障に取り組む。	
指標 ・必要に応じて、5 教科の授業をオンラインで配信等をおこなう。	
取組内容② 【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ICT 機器の活用に関する研修を実施し、教職員の活用能力を高める。	
指標 ・ICT 機器を活用した研究授業を全教員が年に 1 回以上実施する。	

<p>取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館司書の配置に伴い、学校図書館の開館や館内環境整備を行う。調べ学習や読書活動など学校図書館の活用を進める。</p> <p>「学校元気アップ地域本部」事業を継続し、放課後や定期テスト前の自主学習支援など教育活動のサポートの充実を図るとともに、家庭での学習活動の支援を行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度末の校内調査の「学校の図書室を週に 1 回以上利用している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を前年度(13.3%)より増加させる。 ・令和 7 年度末の校内調査の「宿題以外に、予習・復習や問題集を解くなど、自分で計画を立て、家で勉強している」の項目について肯定的に答える生徒の割合を 54%以上にする。 	
<p>取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</p> <p>ホームページや学年・学級通信等を通して、学校の様子を伝えるとともに、保護者や地域住民に開かれた学校園の運営をめざす。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの「中学校の行事や教育活動、子どもの様子はホームページや通信（学年・学級だより）等や懇談会でよく知ることができる」の項目に対して、肯定的に回答する割合を前年度レベル(92.9%)で維持する。 ・地域との連携をはかる機会を 1 回以上設ける。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>大阪市部活動指針（プレイヤーズファースト）を遵守するとともに、学校閉庁日を夏季休業中は 3 日以上、冬季休業中は 1 日以上設定する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 30%以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点